



本校では、教室間をつないだ大規模な遠隔授業を想定し、ICT環境を整備しデジタルスペースとして活用。校内のどの施設からでも機材を持ち運んで活用でき、さらに学校外からの参加や実施も可能となっている。また、既存の視聴覚機器と併用できる機材を選定し、効率的な運用を実現している。



活用事例

高総体等における配信

遠隔地で行われている試合を中継し、生徒の活躍を全校生徒で共有している。平和記念日の学習における熱中症対策として、機器を献花式会場に持ち込み、各教室で中継による平和学習など実施

授業の配信

半導体製造技術における出前授業において、他校との共同学習を計画

課題研究

今後の展望としては、ブロッコリー農家支援（害鳥対策）を行うため、AIカメラの活用、害鳥の認識し、自動走行にて、害鳥に対し音や光を発生させることで害鳥を追い払う対策を実施

課題研究生徒発表会

県内の高校と遠隔授業を実施し、各校における研究内容の向上を図る





整備している機器について



YAMAHA AG06MK2

(左)
Hollyland Lark M2
(右)
Hollyland Mars 300
Pro

BlackmagicDesign
ATEM Mini Pro ISO

CEREVO LiveShell W

4CH入力
オーディオインタフェー
ス付き

(左)
子機マイクロフォン
(右)
送信距離100m
遅延時間0.08s

HDMI 4CH入力
各ストリームの記録能

HDMIスイッチャー機
能付き

ライブストリーミングミ
キサー

(左)
ワイヤレスピンマイク
(右)
無線映像伝送システム

ライブプロダクションス
イッチャー

ライブ配信機器